



一般社団法人日本フードサービス協会

JFニュースレター

2016. 12. 22

一般社団法人日本フードサービス協会
副会長 広報調査委員長 近藤 正樹

ノロウイルスを原因とする食中毒には 심각한警戒を！ 店舗等での再点検、注意喚起をお願いします。

報道の通り、ノロウイルスが各地で猛威を振るっています。近年流行していなかった型のウイルスを原因として、免疫のない幼児が集まる保育所等を中心に集団感染も発生している他、外食産業の主産地である宮城県でも最盛期を迎えるカキの出荷が休止される等、その被害は拡大しています。

ノロウイルスは、保菌者による人から人への感染か食品を介しての中毒によるものか特定が難しく、事業者はその対策に苦慮している現状にあります。さらに、本年は、遺伝子の変化によりヒトが免疫を持たない新たなウイルスの感染がみられるなど、平成18年から19年にかけての大流行に並ぶおそれがあります。

協会においても、ノロウイルス対策については、安全安心委員会を中心に食中毒予防対策セミナーや情報交換会等の開催を通じ、会員各社に情報提供をさせていただいているところですが、年末、年始に向けて、ノロウイルスを原因とする食中毒には 심각한警戒、そして、店舗等での再点検、注意喚起をお願いします。

【ノロウイルスに関する情報】

■食品安全委員会

http://www.fsc.go.jp/sonota/e1_norovirus.html

■厚生労働省

http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/qa/about_norovirus_qa.html

■国立感染症研究所（新規遺伝子型ノロウイルス GII. P17-GII. 17 の流行）

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/778-disease-based/na/norovirus/idsc/iasr-news/5903-pr4273.html>

上記情報は食の安全・安心財団ホームページからも確認が出来ます。

※本ニュースレターは、情報共有を図るため、JF 会員にお送りしています。また、この件については、JF と食の安全・安心財団が連携して情報の収集に努めています。

※お問い合わせは JF 事務局：福田、田村（03-5403-1060）にお願いします。